



【日 時】	2023年12月2日（土）14：00～17：00（受付13：30～）
【開催場所】	倉敷中央病院 大原記念ホール
【テーマ】	医師事務作業補助者の教育
【参加人数】	[会員] 46名 [一般] 57名 [講師・スタッフ] 13名

## 活動報告

岡山県支部 支部長 近藤 祐加（岡山旭東病院）



当協会を紹介後、これまでの岡山県支部の活動報告を行いました。コロナ禍はオンラインで開催しておりましたが、今回は2019年以来久しぶりに現地開催としました。北は北海道から南は長崎まで全国各地から103名と多くの方にご参加頂くことができました。今後も岡山県支部ではより良い企画・運営に努めていきたいと述べました。

## 開会の挨拶

岡山県支部 顧問 土井 章弘（岡山旭東病院 総院長）



2008年に医療の現場に医師事務作業補助者が誕生し、今やなくてはならない存在になりました。医師の長時間労働、多岐にわたる業務内容から長年問題となっている医師の働き方改革。その一部を担い、今後もニーズ拡大が見込まれる医師事務作業補助者へ期待・激励のお言葉を頂きました。

## 講演 『迫る医師の働き方改革！2024年の先にある医師事務作業補助者教育のあり方を考える』

慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 訪問助教  
日本医師事務作業補助者協会 学術アドバイザー 高橋 新



「医療DXによる働き方改革」、「医師事務作業補助者業務を量から質へ」、「院内教育」、「地域医療構想」を交えた内容でした。医師の事務作業負担軽減、医療の質向上の貢献に向けて、今後も医師事務作業補助者が期待されていくことから、自覚・責任感を持って日々の業務に臨むこと、さらなるスキルアップ（知識、経験）を求めていくことが大切であると改めて感じることができました。

## グループディスカッション ①教育：「新人」「指導経験者」「管理者」 ②業務：「外来業務」「病棟業務」「診断書」「秘書業務」「登録業務」「マネジメント」



1時間30分（45分間x2回）の時間を確保しました。テーブルごとにテーマを設けて自由席で行いました。県内外から多くの実務者、関係者らにご参加いただき、自由な意見交換・交流が活発に行われました。他院の取り組みを知って新たな発見があったり、悩みを共有することで励みになる等、より理解が深まるものとなりました。

## 閉会の挨拶

日本医師事務作業補助者協会本部事務局 次長 藤井 崇久（香川労災病院）



今回講演された関係者はもちろん参加者への感謝の気持ちを述べられ、医師事務作業補助者へ寄せられる期待のお言葉を頂き、第6回岡山地方会を締めくくりました。



岡山県支部では世話人を募集しています。  
当協会の趣旨にご賛同いただき、一緒に楽しく企画・運営していただける方がおられましたら、ぜひご連絡ください。  
世話人一同、新しい仲間をお待ちしています。

【報告者】 岡山県支部 世話人 武 靖（水島中央病院）